

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

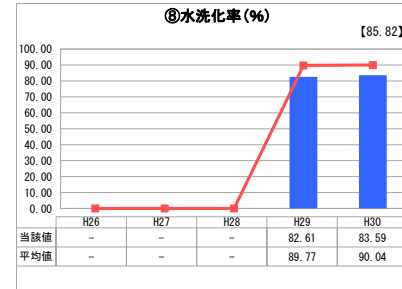
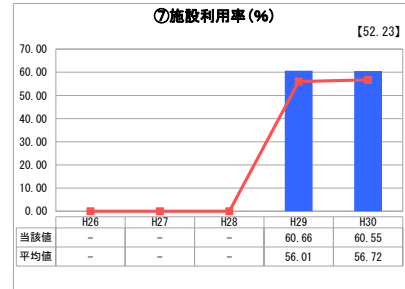
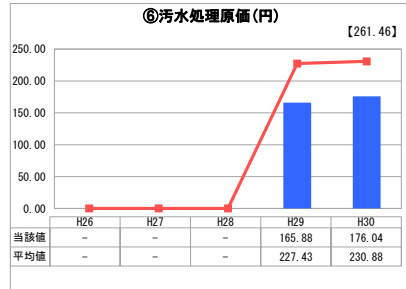
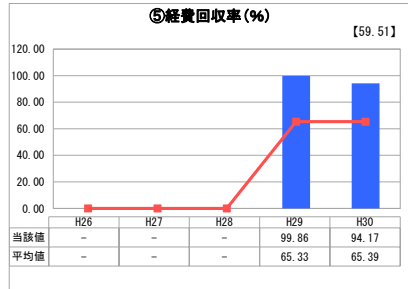
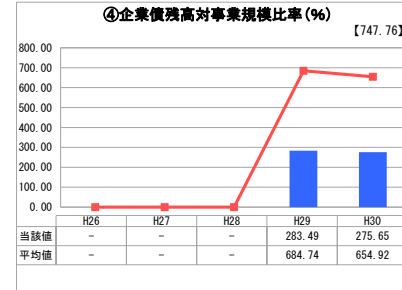
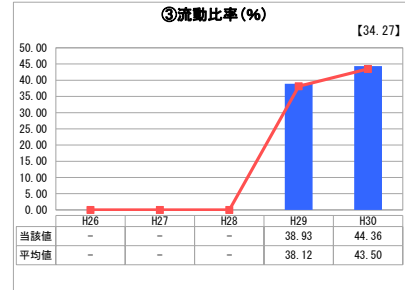
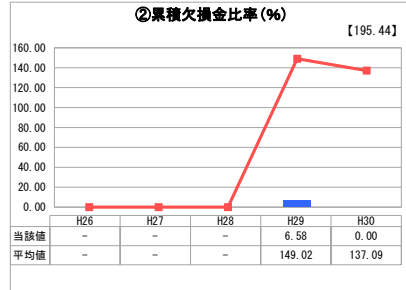
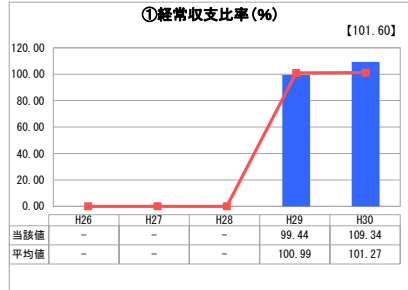
三重県 伊賀市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	自治体職員
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20 <sup>m</sup> 3当たり家庭料金(円)
-	57.81	18.62	100.00	4,860

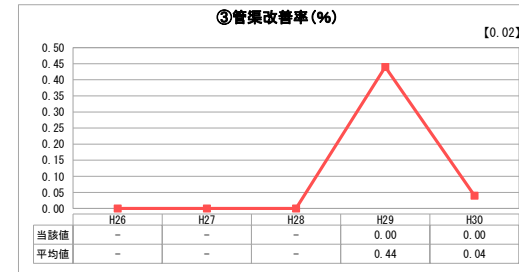
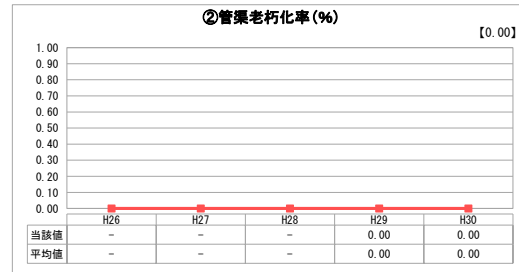
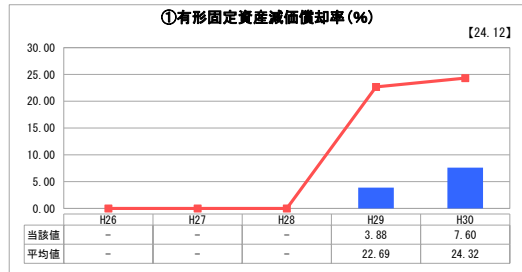
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
92,197	558.23	165.16
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
17,074	10.24	1,667.38

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については、黒字であり、料金収入や一般会計繰入金等の収益により維持管理費等の費用を賄っているが、一般会計繰入金に大きく依存している状況である。

企業債残高対事業規模比率についても、一般会計負担分の割合が大きいことから、類似団体平均値を大きく下回っている。

経費回収率については、類似団体平均値よりは高いものの、汚水処理費が使用料金により賄われておらず、適正な使用料金収入の確保及び汚水処理費の削減が必要である。

施設利用率については、類似団体平均値とほぼ同等の値となっているが、今後、人口減少等による社情勢の変化に合わせ、処理場のダウンサイジングや統廃合等、施設の効率化に向けた検討を進める必要がある。

水洗化率については、100%未満であり、類似団体と比較しても低い値となっているため、公共用水域の水質保全や、使用料金収入確保の観点から、普及啓発等、更なる向上の取り組みが必要である。

### 2. 老朽化の状況について

現状では法定耐用年数を超えた老朽化管渠がないため、改修の実施となっている。

資産の老朽化度を示す有形固定資産減価償却率は類似団体平均値より低い値であるが、26処理区のうち19処理区が供用開始から15年以上経過しており、処理施設の機械・電気設備などの改修や更新時期を迎えているため、長寿命化対策等による施設の健全化や最適な規模での改修更新を計画的に行っていく必要がある。

## 全体総括

当該事業は現在施工中の山田南地区の完了をもって整備は終了し、以後は既存施設の維持管理に移行していく。

最も古い処理区では供用開始から30年以上経過し、施設の改修更新に多額の費用が必要となることに加え、処理区ごとの経理処理となっていることや小規模の処理区があることなど、財政構造や効率性などの面でも課題が多く、今後さらに経営が困難になることが予想される。

こうした状況のもと、安定的な事業運営に向けた経営基盤強化と財政マネジメント向上のため、平成31年3月に「伊賀市下水道事業経営戦略」を策定したところであり、今後、この計画に基づき、施設の統廃合による効率化を踏まえた計画的な改修更新や、事業実施に必要な財源を確保するための適正な使用料金への見直し等の取り組みを進めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。